

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 優秀

税金に支えられた日本の力

新潟県立長岡高等学校

二年 米坂 鈴

日本は、科学技術の分野で世界的に高い評価を受けている国です。これは、私たちの生活を向上させるための研究や技術開発が税金によって支えられているからです。税金は私たちがより良い社会を築くための重要な財源であり、その用途の一つとして挙げられるのが宇宙開発や基礎研究です。

まず、宇宙開発における税金の役割について考えてみましょう。日本の宇宙開発は七十年近く前に始まり、現在まで小惑星サンプルリターンや月探査、国際宇宙ステーションへの参加などを始めとする様々なプロジェクトが行われてきました。その積み重ねにより日本の宇宙開発、科学技術力が世界に認められるようになったのは、ひとえに税金のおかげと言っても過言ではないでしょう。また、宇宙開発の成果は通信技術や気象予測、地球環境の観測など幅広い分野で私たちの生活に直接影響を与え、利便性や安全性の向上に貢献しています。

次に、基礎研究についてです。基礎研究は実用化に至るまでに長い時間がかかりますがその結果として新

しい技術や知見が生まれます。日本の大学や研究機関で行われている基礎研究は税金を使って進められています。例えば、ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授のiPS細胞の研究は、日本の基礎研究の成果として世界的に注目されています。このような研究は、医療分野やその他の技術革新に大きな影響を与え、多くの人々の生活を改善する可能性を秘めています。税金が基礎研究に投じられることで、こうした革新が現実のものとなり、日本の科学技術の地位を高めています。

さらに、税金は大学や研究機関と企業の連携を支援するためにも使われています。大学の研究室で生まれた技術が企業の製品開発に役立ち、最終的に消費者の手に届くことで経済の活性化にもつながります。

このように、税金は日本の国際競争力の強化に寄与しています。世界中で技術革新が進む中、日本も国際的な競争に参加しなければなりません。税金によって支えられる研究機関や大学の存在は、日本が世界の最前線で競争力を保つために欠かせない要素です。新技術の発展や学術的な成果が国際的な評価を高め、経済的な利益をもたらすことにつながります。

私自身、将来研究職に就きたいと考えています。そのため、税金がどのように使われ、どのように国に貢献しているのかを理解することは特に重要です。税金は単なる支出ではなく、未来を創造するための投資であることを深く理解し、これからの研究に対する意識を高めていきたいです。私は、税金が支える科学技術の発展により、社会はより豊かで、より素晴らしいものになると信じています。この理解、信念をもって、自分ができることを考え、実行していきたいと思いません。